

記者発表				
月/日(曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当者)	その他配布先
11月29日(木) 13:00	県立考古博物館 埋蔵文化財課	079(437)5595	副館長兼総務部長 木下吉明 (埋蔵文化財課長 中川 渉)	但馬県民局

みみたにくさやまこふんぐん
耳谷草山古墳群（豊岡市日高町山本）の発掘調査成果と現地説明会について

内 容

一般国道 483 号北近畿豊岡自動車道日高豊岡南道路事業に伴って、兵庫県教育委員会は(公財)兵庫県まちづくり技術センターに委託して、耳谷草山古墳群（みみたにくさやまこふんぐん）の発掘調査を進めています。

調査の結果、11 基の古墳が見つかりました。調査成果を公開するため、下記のとおり現地説明会を開催するとともに、兵庫県立考古博物館（播磨町）において現地説明会のライブ中継を実施します。

また、下記のとおり速報展示を行います。

【調査成果】

別紙、「耳谷草山古墳群調査の概要」のとおり

【現地説明会】

日時：平成 30 年 12 月 2 日(日) 13:30～15:00

場所：耳谷草山古墳群発掘調査現場（豊岡市日高町山本） 別紙地図参照

ライブ中継公開場所：兵庫県立考古博物館メインホール(加古郡播磨町大中 1-1-1)

【速報展示】

日時：平成 30 年 12 月 4 日(火)～12 月 23 日(日)

場所：兵庫県立考古博物館（加古郡播磨町大中 1-1-1）：メインホールほか

【資料】 別紙 1～7 のとおり

〈現地説明会にかかる問い合わせ先〉

耳谷草山古墳群現地事務所

担当 山田清朝副課長、藤原怜史技術職員、大嶋昭海技術職員

Tel 0796(42)1188 (11/30(金)12:10～13:00 17:00～18:00)

Tel 090(6205)9880 (12/1(土))

〈遺跡の内容およびライブ中継にかかる問い合わせ先〉

(公財)兵庫県まちづくり技術センター

担当 埋蔵文化財調査部次長 甲斐 昭光

Tel 079(437)5561 (土曜を除く)

兵庫県立考古博物館

担当 埋蔵文化財課長 中川 渉

Tel 079(437)5595 (土曜を除く)

1	遺 跡 名	耳谷草山古墳群（みみたにくさやまこふんぐん）
2	遺跡の種別	墳墓遺跡
3	遺跡の時代	古墳時代
4	所 在 地	豊岡市日高町山本
5	調 査 面 積	約 4, 4 0 0 m ²
6	調 査 期 間	8 月 2 8 日～12 月 2 7 日（予定）
7	調 査 原 因	一般国道 4 8 3 号北近畿豊岡自動車道日高豊岡南道路事業
8	調 査 主 体	兵庫県教育委員会
9	調 査 機 関	（公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部 山田清朝副課長、藤原怜史技術職員、大嶋昭海技術職員
10	調査の概要	

（1）遺跡の立地

耳谷草山古墳群は、日高平野に向かって西から東にのびる尾根上に27基が立地する。そのうち、北近畿豊岡自動車道建設工事に係る11基（耳谷草山14号墳～同24号墳）について調査を行っている。古墳の位置する尾根の標高は約80mであり、日高平野が一望できる。

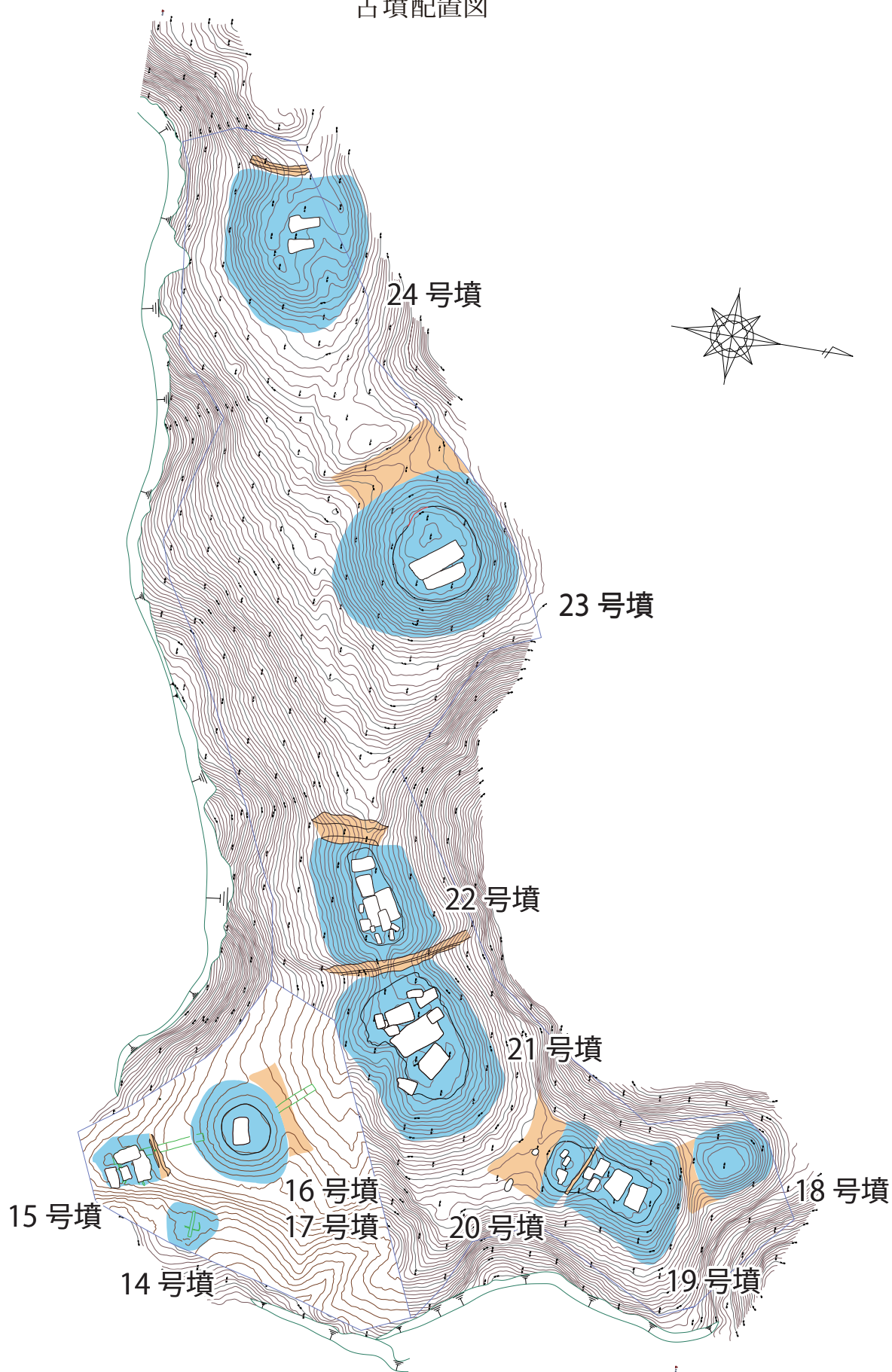
（2）調査の概要（各古墳の規模等は一覧表参照）

- ① 調査した古墳 11 基は古墳時代前期から中期（4～5世紀）に営まれたことが分かった。
- ② 古墳時代前期の古墳（15・16・19～22号墳）
 - ・墳丘の平面形は方形が多い。
 - ・1つの墳丘に多数の埋葬施設をもっており、乳幼児の墓である土器棺墓もあることから、各古墳が家族墓的な様相を示している。
 - ・20号墳の墳丘外で見つかった乳幼児用の土器棺墓に使われた土器は、古墳時代前期に鳥取県地域で主に棺等に利用された壺であることが分かった。
- ③ 古墳時代中期の古墳（17・18・23・24号墳）
 - ・墳丘の平面形は円形が多い。
 - ・墳丘に1～2基の埋葬施設をもち、古墳に埋葬される階層が限定されたと考えられる。
 - ・本古墳群で最大の墳丘をもつ23号墳から、銅鏡や多数の鉄製品、玉などが出土した。第2主体部から割竹形木棺の跡が確認できた。棺内から、銅鏡1・鉄刀4・鉄鏃約40・鉄斧1・鉄鎌1が出土し、棺の底には塗布された赤色顔料（朱もしくはベンガラ）が残存していた。棺外からは、鏃・鎌・鉈・針等の鉄製品や、種別不明の銅製品が出土した。第1主体部からは舟形木棺の跡が確認できた。棺内からは銅鏡1・鉄製刀子1・勾玉1・管玉8・ガラス小玉17が出土した。2つの主体部から出土した銅鏡2面は、いずれも国内で生産された鏡で、背面の文様から「珠文鏡」に分類される。第2主体部出土鏡は直径9.8cm、第1主体部のそれは5.8cmである。珠文鏡は、但馬では12および13例目の出土である。
 - ・24号墳と25号墳（調査対象外）との境の溝から、滑石で作った石釧（腕輪形石製品の一種）1点が出土した。石釧は、豊岡市域では2点目の出土で、古墳からは初例。但馬では他に4遺跡から7点、兵庫県内では他に10遺跡から27点が出土している。

11 ま と め

- （1）当古墳群では、古墳時代前期と中期の間で、墳形や埋葬される階層の違いがあることが分かった。
- （2）本古墳群中最大の墳丘をもつ23号墳は、長大な2基の埋葬施設をもち、珠文鏡2面、多量の鉄製品、玉類などが副葬され、当地域の中心的な人物と考えられる。
- （3）この地域で類例の少ない石釧が出土した。

古墳配置図



耳谷草山古墳群写真



耳谷草山古墳群全景



23号墳の副葬品（第2主体部）



23号墳から出土した銅鏡（第1主体部）

墳墓名	墳丘		埋葬施設			
	墳形	平面規模(m)	埋葬施設名	墓壙規模(m) (長さ×幅×深さ)	棺	棺規模(m) (長さ×幅×深さ)
14号墳	方墳	7m×6m	—		—	—
15号墳	方墳	8m×7m	第1主体部		割竹形木棺	2.5×0.5×
			第2主体部		割竹形木棺	3.0×0.4×
			第3主体部		組合せ式木棺	1.0×0.4×
			第4主体部		割竹形木棺	2.1× ×
16号墳	円墳	径16m	第1主体部		箱式石棺	
17号墳	円墳	径16m	第1主体部		舟形木棺?	2.6×0.6×
18号墳	方墳	11m×9m	第1主体部			
19号墳	方墳	16m×14m	第1主体部	2.4×1.2×	組み合わせ木棺	1.6×0.6×
			第2主体部	1.6×1.2×	組み合わせ木棺	1.2×0.5×
			第3主体部		組み合わせ木棺	
			第4主体部			
			第5主体部			
20号墳	方墳	13m×5m	第1主体部			
			第2主体部	1.3×0.8×	組み合わせ木棺	1.0×0.5×
			第3主体部			
			第4主体部	1.5×0.6×	組み合わせ木棺	1.4×0.4×
			第5主体部		土器棺	
21号墳	方墳	24m×18m	第1主体部	6.8×3.8×		
			第2主体部	2.3×1.6×0.7	組み合わせ木棺	0.8×0.4×
			第3主体部	4.3×3.1×	小竪穴式石室	1.9×0.5×
			第4主体部	3.1×1.7×		
			第5主体部	2.3×1.1×		
			第6主体部	×1.2×		
			第7主体部	3.8×2.4×		
			第8主体部	2.0×1.2×		
			第9主体部	1.9×1.3×0.7	組み合わせ木棺	0.8×0.4×
			第10主体部	2.8×1.9×	割竹形木棺	
22号墳	方墳	17m×15m	第1主体部	4.6×2.4×		
			第2主体部	4.6×2.0×0.8	箱形木棺	2.7×0.7×
			第3主体部	3.0×2.1×1.0	箱形木棺	1.8×0.4
			第4主体部	2.8×1.4×0.5	組合せ式木棺	0.9×0.4
			第5主体部	1.6×1.5×0.7	組合せ式木棺	0.7×0.3
			第6主体部	0.9×0.7×0.3	土壙墓	—
			第7主体部	1.2×0.6×0.5	土壙墓	—
			第8主体部	1.4×0.6×0.6	土壙墓	—
			第9主体部	1.5×0.7×0.5	箱形木棺	1.0×0.3×
			第10主体部	3.3×1.7×0.9	箱形木棺	2.3×0.5×
23号墳	円墳	径25m	第1主体部	6.1×2.0×	舟形木棺	4.6×1.0×
			第2主体部	8.1×2.7×	割竹形木棺	5.7×0.9×0.3
24号墳	方墳	22m×20m	第1主体部	4.1×1.5×	割竹形木棺	3.4×0.6×
			第2主体部	3.6×1.5×	組合せ式木棺	3.2×0.5×

墳墓名	埋葬施設		
	副葬品		特徴
	棺内	棺外	
14号墳	—	—	
15号墳	なし	なし	
	なし	なし	
	なし	なし	
	なし	なし	
16号墳			
17号墳	なし	U字形鋤先・鉄鏃・鉄鎌	
18号墳			
19号墳	なし	なし	
	なし	なし	
	なし	なし	
20号墳	なし	なし	
	なし	なし	
			墳丘外で検出
21号墳			施朱
			人骨遺存(一部)・施朱
	鉄刀・鉄鏃		
			施朱
22号墳	鉈		
	なし		
	なし		
23号墳	銅鏡・勾玉・管玉・ガラス小玉・鉄製刀子		
	銅鏡・鉄刀(4)・鉄鏃・鉄斧・鉄鎌	鉄鏃・鉄鎌・鉈・針・不明銅製品	施朱・棺材一部残
24号墳	管玉	—	
	勾玉	—	礫床

墳墓名	棺外出土遺物 (出土位置)	時期	備 考
14号墳	—	不明	墳丘のみ残
15号墳		前期か	
16号墳		前期か	17号墳の下層で検出
17号墳	土師器(墳頂部)	中期 (5世紀)	
18号墳	須恵器(墳頂部)	中期か	
19号墳	土師器(墳丘斜面)	前期 (4世紀)	
20号墳	土師器(墳頂部)	前期 (4世紀)	
21号墳	土師器(墳丘斜面)	前期か	
22号墳	土師器・須恵器(墳丘裾部)	前期か	
23号墳	須恵器甕(墳丘裾部)	中期 (5世紀初頭)	
24号墳	石釧(西側区画溝) 土師器(西側区画溝)	中期 (5世紀初頭)	

